

MIDI THRU5 WC

ユーザーマニュアル V07

こんにちは、CME のプロフェッショナル製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をご使用になる前に、このマニュアルをよくお読みください。マニュアルの写真は説明のみを目的としており、実際の製品は異なる場合があります。その他のテクニカル サポート コンテンツとビデオについては、次のページをご覧ください www.cme-pro.com/support/

重要な情報

- **警告**

接続が不適切な場合、デバイスが損傷する可能性があります。

- **著作権**

著作権 © 2024 CME Pte. Ltd. 全著作権所有。CME は CME Pte.Ltd.を設立しました。その他すべての商標または登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

- **限定保証**

CME は、この製品の 1 年間の標準限定保証を、CME の認定ディーラーまたはディストリビューターからこの製品を最初に購

入した個人または団体にのみ提供します。保証期間は、この製品の購入日から始まります。CME は、保証期間中の製造上の欠陥および材料の欠陥に対して、付属のハードウェアを保証します。

CME は、通常の損耗、または購入した製品の事故や乱用によって引き起こされた損傷に対して保証しません。CME は、機器の不適切な操作によって引き起こされたいかなる損害またはデータ損失についても責任を負いません。保証サービスを受ける条件として、購入証明書を提出する必要があります。この製品の購入日を示す配達または販売領収書は、購入の証明です。サービスを受けるには、この製品を購入した CME の正規販売店または販売代理店に電話または訪問してください。CME は、現地の消費者法に従って保証義務を履行します。

● 安全情報

感電、損傷、火災、またはその他の危険による重傷や死亡の可能性を避けるために、常に以下にリストされている基本的な予防措置に従ってください。これらの注意事項には、以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 雷が鳴っている間は機器を接続しないでください。
- コンセントが湿気の多い場所用に特別に設計されていない限り、コードやコンセントを湿気の多い場所に設置しないでください。
- 機器を AC で駆動する必要がある場合は、電源コードが AC コンセントに接続されているときに、コードのむき出しの部分やコネクタに触れないでください。
- 機器をセットアップするときは、常に指示に注意深く従ってください。

- 火災や感電を防ぐため、機器を雨や湿気にさらさないでください。
- 機器を蛍光灯や電気モーターなどの電気インターフェース源から遠ざけてください。
- 機器をほこり、熱、振動から遠ざけてください。
- 機器を日光にさらさないでください。
- 機器の上に重いものを置かないでください。液体の入った容器を器具の上に置かないでください。
- 濡れた手でコネクタに触れないでください

パッケージ内容

1. MIDI THRU5 WC
2. USB ケーブル
3. クイックスタート ガイド

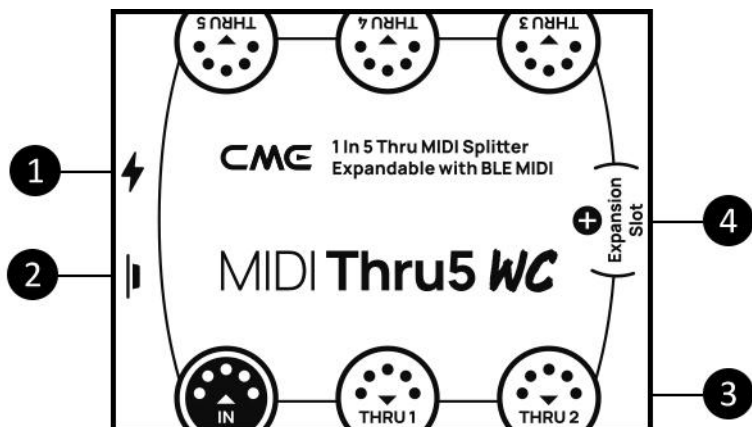
紹介

MIDI Thru5 WC は、 拡張可能なワイヤレス Bluetooth MIDI 機能を備えた有線 MIDI スルー/スプリッターボックスであり、MIDI IN で受信した MIDI メッセージを複数の MIDI スルーに完全かつ正確に転送できます。標準の 5 ピン MIDI THRU ポートが 5 つ、5 ピン MIDI IN ポートが 1 つあり、さらに 16 チャンネルの双方向 Bluetooth MIDI モジュールをインストールできる拡張スロットがあります。標準の USB 経由で給電できます。複数の MIDI Thru5 WC をデジタイゼーション接続して、より大きなシステムを形成できます。

注意: Bluetooth MIDI 拡張スロットには、WC モジュールと呼ばれる CME の WIDI コア(PCB アンテナ付き)を搭載できます。Bluetooth MIDI モジュールをインストールすると、MIDI Thru5WC は CME の WIDI Thru6BT と同じように機能します。

MIDI Thru5 WC は、シンセサイザー、MIDI コントローラー、MIDI インターフェース、キーター、電子管楽器、V アコーディオン、電子ドラム、デジタルピアノ、電子ポータブルキーボード、オーディオインターフェース、デジタルミキサーなど、すべての MIDI 製品を標準 MIDI インターフェースに接続できます。オプション

ョンの Bluetooth MIDI モジュールを使用すると、MIDI Thru5 WC は、Bluetooth MIDI コントローラー、iPhone、iPad、Mac、PC、Android タブレット、携帯電話などの BLE MIDI 対応デバイスやコンピュータに接続できます。



1. USB 電源

USB TYPE-C ソケット。ユニバーサル USB Type-C ケーブルを使用して、ボリュームが 5V の標準の USB 電源を接続します。tage 5V(例:充電器、パワーバンク、コンピュータの USB ソケットなど)ユニットに電力を供給します。

2. ボタン

このボタンは、オプションの Bluetooth MIDI モジュールがインストールされていない場合には効果がありません。

注意: オプションの WIDI Core Bluetooth MIDI モジュールをインストールすると、特定のショートカット操作が可能になります。まず、WIDI コアのファームウェアが最新バージョンにアップ

グレードされたことを確認してください。次の操作は、WIDI v0.1.4.7 BLE ファームウェアバージョン以降に基づいています。

- ◆ MIDI Thru5 WC の電源が入っていない場合は、ボタンを押し続けてから、インターフェースの中央にある LED ライトが 5 回ゆっくり点滅するまで MIDI Thru3WC の電源を入れてから離します。インターフェースは手動で工場出荷時のデフォルト状態にリセットされます。
- ◆ MIDI Thru5 WC の電源がオンになったら、ボタンを 3 秒間押し続けてから離すと、インターフェイスの Bluetooth の役割が手動で「周辺機器の強制」モードに設定されます(このモードはコンピューターまたは携帯電話に接続するために使用されます)。インターフェースが以前に他の Bluetooth MIDI デバイスに接続されていた場合、このアクションによりすべての接続が切断されます。

3. 5 ピン DIN MIDI ソケット

- ◆ **入力:** 5 ピン MIDI IN ソケットを 1 つ使用して、標準 MIDI デバイスの MIDI OUT または MIDITHRU ポートを接続して MIDI メッセージを受信します。
- ◆ **THRU:** 5 つの 5 ピン MIDI THRU ソケットを使用して、標準 MIDI デバイスの MIDI IN ポートに接続し、MIDI Thru5WC によって受信したすべての MIDI メッセージを接続されているすべての MIDI デバイスに転送します。

4. 拡張スロット(製品ハウジング内の回路基板上)

CME のオプションの WIDI コアモジュールを使用して、16 チャンネルの双方向ワイヤレス Bluetooth MIDI 機能を拡張できます。モジュールの詳細については、www.cme-pro.com/widi-core/ をご覧ください。モジュールは別途購入する必要があります。

● LED インジケータ

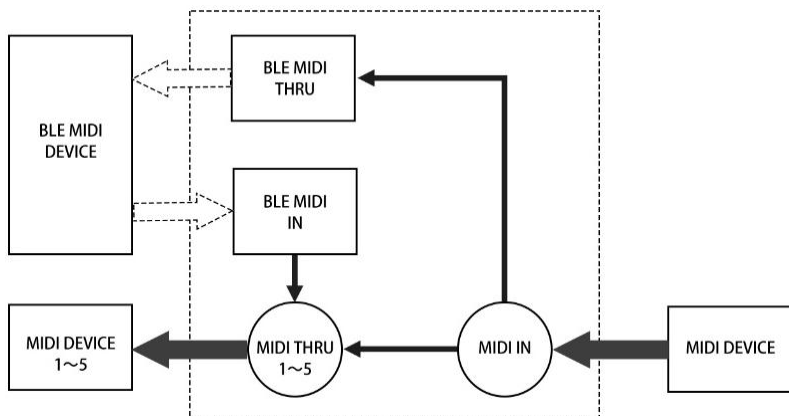
インジケータは製品ハウジング内にあり、ユニットのさまざまな状態を示すために使用されます。

- ◆ USB 電源の側面付近にある緑色の LED ライト
 - 電源がオンになると、緑色の LED ライトが点灯します。
- ◆ インターフェースの中央にある LED ライト(WIDI コアを取り付けた後にのみ点灯します)
 - 青色の LED ライトがゆっくり点滅:Bluetooth MIDI が正常に起動し、接続を待機します。
 - 青色の LED ライトが点灯:BluetoothMIDI が正常に接続されました。
 - 青色 LED ライトの高速点滅:Bluetooth MIDI が接続されており、MIDI メッセージが受信または送信されています。
 - ライトブルー(ターコイズ)の LED ライトは常に点灯しており、デバイスは他の Bluetooth MIDI 周辺機器に Bluetooth MIDI 中央として接続されています。
 - 緑色の LED ライトは、デバイスがファームウェアアップグレーダーモードになっていることを示しており、ファームウェアをアップグレードするには、iOS または Android バージョンの WIDI アプリを使用してください(アプリのダウンロードリンクにつ

いては、BluetoothMIDI.com ページを参照してください)。

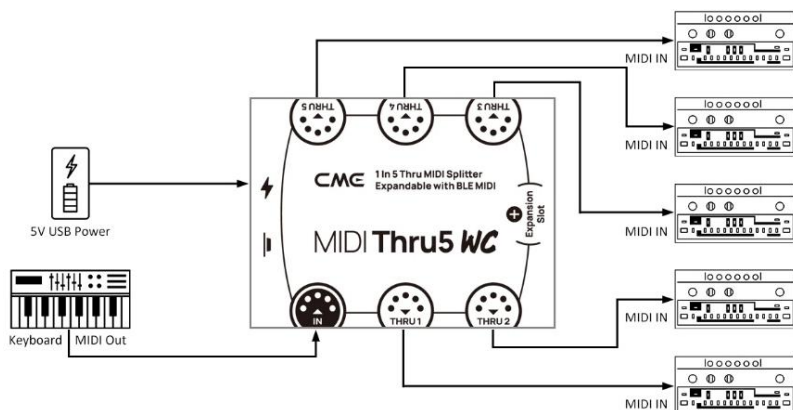
- 信号フローチャート

注意: BLE MIDI パートの部分は、WC モジュールをインストールした後にのみ有効です



接続

- 外部 MIDI デバイスを MIDI Thru5WC に接続する



1. MIDI Thru5WC の USB ポートからユニットに電力を供給します。
2. 5 ピン MIDI ケーブルを使用して、MIDI デバイスの MIDIOUT または MIDITHRU を MIDI THRU5WC の MIDIIN ソケットに接続します。次に、MIDI Thru1WC の MIDITHRU(5-5)ソケットを MIDI デバイスの MIDIIN に接続します。
3. この時点で、MIDI THRU5WC が MIDIIN ポートから受信した MIDI メッセージは、THRU1〜5 ポートに接続された MIDI デバイスに完全に転送されます。

注: MIDI Thru5 WC には電源スイッチがなく、電源を入れるだけで動作を開始できます。

● 複数の MIDI Thru5 WC をデジチェーン接続

実際には、より多くの MIDI Thru ポートが必要な場合は、標準の 5 ピン MIDI ケーブルを使用して 1 つの MIDI Thru5WC の

MIDI Thru5 ポートを次の MIDI IN ポートに接続することにより、複数の MIDI Thru5 WC を簡単にダイジーチェーン接続できます。

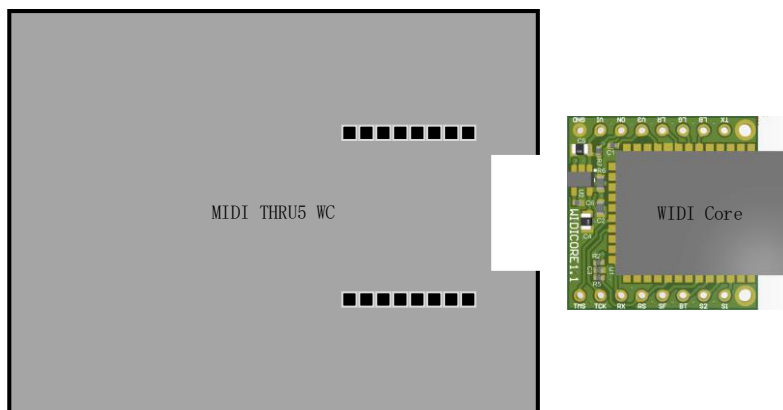
注: 各 MIDI Thru5 WC は個別に電源を供給する必要があります(USB ハブの使用も可能です)。

拡張 BLUETOOTH ミディ

MIDI Thru5 WC には、CME の WIDI コアモジュールを装備して、16 の MIDI チャンネルに双方向の Bluetooth MIDI 機能を追加できます。

● WIDI コアを MIDI Thru5WC にインストールする

1. MIDI Thru5WC からすべての外部接続を取り外します。
2. ドライバーを使用して、MIDI Thru4 WC の下部にある 5 本の固定ネジを取り外し、ケースを開きます。
3. 流水で手を洗い、ペーパータオルで乾かして静電気を逃がしてから、WIDICore をパッケージから取り出します。
4. WIDI コアを MIDI Thru5WC のソケットに、次の図に示す方向に従って水平かつゆっくりと(MIDI Thru5 WC マザーボードの上部から 5 度の垂直角度で)挿入します。



5. MIDI THRU5 WC のメインボードをケースに戻し、ネジで固定します。

詳細については<<MIDI Thru5WC オプション Bluetooth MIDI モジュールインストールガイド>>を参照してください。

注意: 挿入方向や位置が間違っている、不適切な抜き差し、ライブ操作、静電破壊により、WIDICore と MIDI Thru5WC が正常に機能しなくなったり、ハードウェアが損傷したりする可能性があります。

- **WIDI コアモジュールの Bluetooth ファームウェアを書き込みます。**

1. Apple App Store、Google Play ストア、または [CME の公式 Web サイトのサポート ページ](#) にアクセスして、CME WIDI アプリを検索してインストールします。iOS または Android デバイスは、Bluetooth Low Energy 4.0 機能(またはそれ以降)をサポートしている必要があります。
2. MIDI Thru5WC の USB ソケットの横にあるボタンを押したまま、デバイスの電源を入れます。インターフェース

の中央にある LED ライトが緑色になり、ゆっくりと点滅し始めます。7 回点滅すると、LED ライトが赤く点滅から緑に変わり、ボタンを離すことができます。

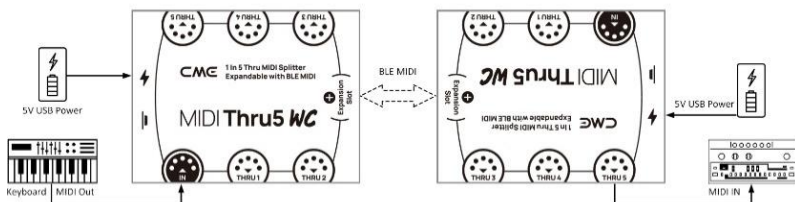
3. WIDI アプリを開くと、WIDI アップグレーダーの名前がデバイスリストに表示されます。デバイス名をクリックして、デバイスのステータスページに入ります。ページ下部の[Bluetooth ファームウェアのアップグレード]をクリックし、次のページで MIDI Thru5 WC の製品名を選択して[開始]をクリックすると、アプリがファームウェアのアップグレードを実行します(アップグレードプロセス中は、更新が完了するまで画面をオンのままにしてください)。
4. アップグレードプロセスが完了したら、WIDI アプリを終了し、MIDI Thru5WC を再起動します。

BLUETOOTH MIDI 接続

(オプションの WIDI CORE 拡張が取り付けられている場合)

注意: すべての WIDI 製品は、Bluetooth 接続に同じ方法を使用します。したがって、次のビデオの説明では、例として WIDI マスターを使用しています。

- 2つの MIDI Thru5WC インターフェース間で Bluetooth MIDI 接続を確立します



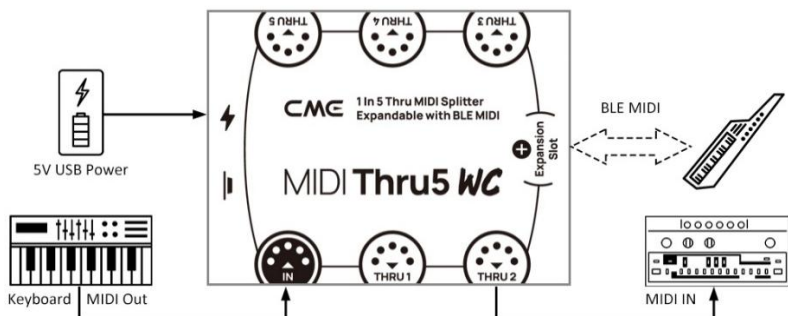
ビデオ 指導: <https://youtu.be/Bhlx2vabt7c>

1. WIDI Core モジュールが取り付けられた 2 つの MIDI Thru5 WC の電源を入れます。
2. 2 つの MIDI Thru5 WC は自動的にペアリングされ、青色の LED ライトがゆっくりと点滅から点灯に変わります (MIDI Thru5 WC の 1 つの LED ライトはターコイズ色で、中央の Bluetooth MIDI デバイスとして機能していることを示します)。MIDI データが送信されると、両方のデバイスの LED がデータとともに動的に点滅します。

注意: 自動ペアリングは、2 つの Bluetooth MIDI デバイスを接続します。複数の Bluetooth MIDI デバイスをお持ちの場合は、正しい順序で電源をオンにするか、WIDI グループを使用して固定リンクを作成してください。

注意: WIDI アプリを使用して WIDI BLE の役割を「Force Peripheral」として設定し、複数の WIDI が同時に使用されるときに相互に自動的に接続されないようにしてください。

- Bluetooth MIDI を内蔵した MIDI デバイスと MIDI Thru5WC との間に Bluetooth MIDI 接続を確立します

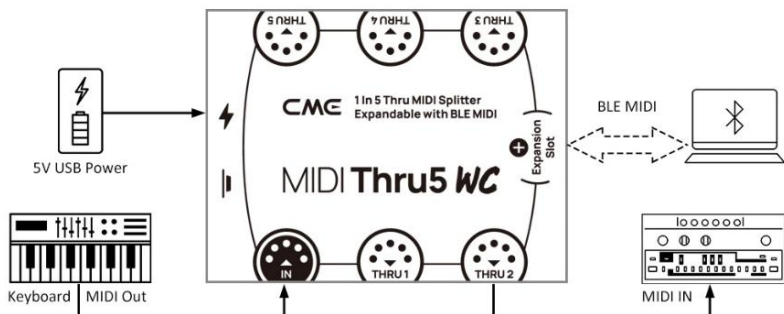


ビデオ 指導: <https://youtu.be/7x5iMbzf0o>

1. Bluetooth MIDI が組み込まれた MIDI デバイスと、WIDICore モジュールが取り付けられた MIDI Thru5WC の電源を入れます。
2. MIDI Thru5 WC は、別の MIDI デバイスの内蔵 Bluetooth MIDI と自動的にペアリングされ、LED ライトがゆっくりと点滅する状態から青色の点灯に変わります。MIDI データが送信されている場合、LED ライトはデータとともに動的に点滅します。

注意: MIDI Thru5 WC が他の MIDI デバイスと自動的にペアリングできない場合は、互換性の問題がある可能性がありますので、[BluetoothMIDI.com](https://bluetoothmidi.com) にアクセスして CME にテクニカルサポートを依頼してください。

- macOS と MIDITHRU5WC 間の BluetoothMIDI 接続を確立します



ビデオ 指導: <https://youtu.be/bKcTfR-d46A>

1. MIDI コアモジュールが取り付けられた MIDI Thru5 WC の電源を入れ、青色の LED がゆっくり点滅していることを確認します。
2. Apple コンピュータ画面の左上隅にある[Apple アイコン]をクリックし、[システム環境設定]メニューをクリックし、[Bluetooth アイコン]をクリックして[Bluetooth をオンにする]をクリックし、Bluetooth 設定ウィンドウを終了します。
3. Apple コンピュータの画面上部の[移動]メニューをクリックし、[ユーティリティ]をクリックして、[Audio MIDI 設定]をクリックします。

注: MIDI Studio ウィンドウが表示されない場合は、Apple コンピュータの画面上部の[ウィンドウ]メニューをクリックし、[MIDI Studio を表示]をクリックしてください。

4. MIDI Studio ウィンドウの右上にある[Bluetooth アイコン]をクリックし、デバイス名リストの下に表示される MIDI Thru5 WC を見つけて[接続]をクリックすると、MIDI Thru5WC の Bluetooth アイコンが MIDI スタジオウィン

ドウに表示され、接続が成功したことを示します。これで、すべてのセットアップウィンドウを終了できます。

- iOS デバイスと MIDI Thru5WC の間に BluetoothMIDI 接続を確立します

ビデオ 指導: <https://youtu.be/5SWkeu2lyBg>

1. Appstore にアクセスして、無料アプリ[midimitttr]を検索してダウンロードします。

注意: 使用しているアプリにすでに Bluetooth MIDI 接続機能が統合されている場合は、アプリの MIDI 設定ページで MIDI Thru5WC を直接接続してください。

2. WIDI コアモジュールが取り付けられた MIDI Thru5 WC の電源を入れ、青色の LED がゆっくり点滅していることを確認します。
3. [設定]アイコンをクリックして設定ページを開き、[Bluetooth]をクリックして Bluetooth 設定ページに入り、Bluetooth スイッチをスライドして Bluetooth 機能を有効にします。
4. midimitttr アプリを開き、画面右下の[デバイス]メニューをクリックし、リストに表示される MIDI Thru5 WC を見つけて[未接続]をクリックし、Bluetooth ペ어링リクエストポップアップウィンドウで[ペアリング]をクリックすると、リスト内の MIDI Thru5WC のステータスが[接続済み]に更新され、接続が成功したことを示します。この時点で、midimitttr は最小化され、iOS デバイスのホームボタンを押すことでバックグラウンドで実行し続けることができます。

5. 外部 MIDI 入力可能な音楽アプリを開き、設定ページで MIDI 入力デバイスとして MIDI Thru5 WC を選択すると使用を開始できます。

注: iOS 16(以降)では、WIDI デバイスとの自動ペアリングが可能です。

iOS デバイスと WIDI デバイス間の接続を初めて確認した後、WIDI デバイスまたは iOS デバイスで Bluetooth を起動するたびに、自動的に再接続されます。これは素晴らしい機能で、今後は毎回手動でペアリングする必要がなくなります。そうは言っても、WIDI アプリを使用している人にとっては、WIDI デバイスのみを更新し、Bluetooth MIDI 用の iOS デバイスを使用しないと混乱を招く可能性があります。新しい自動ペアリングは、iOS デバイスとの不要なペアリングにつながる可能性があります。これを回避するには、WIDI グループを使用して WIDI デバイス間に固定ペアを作成します。別のオプションは、WIDI デバイスで作業するときに iOS デバイスで Bluetooth を終了することです。

- **Windows 10/11 コンピューターと MIDI Thru5WC の間に Bluetooth MIDI 接続を確立します**

ビデオ 指導: <https://youtu.be/JyJTulS-g4o>

まず、音楽ソフトウェアは、Windows 10/11 に付属の Bluetooth MIDI ユニバーサルドライバを使用するために、Microsoft の最新の UWP API インターフェイスプログラムを統合する必要があります。ほとんどの音楽ソフトウェアは、さまざまな理由でこの API を統合していません。私たちが知る限り、Bandlab の Cakewalk だけがこの API を統合しているため、MIDI Thru5WC またはその他の標準 Bluetooth MIDI デバイスに直接接続できます。

Windows 10/11 汎用 Bluetooth MIDI ドライバーと音楽ソフトウェア間の MIDI データ転送には、ソフトウェア仮想 MIDI インターフェイスドライバーを介した代替ソリューションがあります。

WIDI 製品は、Korg BLE MIDI Windows 10 ドライバーと完全に互換性があり、複数の WIDI をサポートして Windows 10/11 コンピューターに同時に接続し、双方向 MIDI データ伝送を実行できます。

WIDI をコルグの BLEMI ドライバーに接続するには、正確な指示に従ってください。

1. コルグの公式にアクセスしてください [webBLE MIDI Windows ドライバーをダウンロードするためのサイト](http://www.korg.com/us/support/download/driver/0/530/2886/)。
www.korg.com/us/support/download/driver/0/530/2886/
2. 解凍ソフトウェアでドライバーファイルを解凍した後、exe ファイルをクリックしてドライバーをインストールします(インストールが成功したかどうかは、インストール後にデバイスマネージャーのサウンド、ビデオ、およびゲームコントローラーのリストで確認できます)。
3. WIDI アプリを使用して WIDI BLE の役割を「Force Peripheral」に設定し、複数の WIDI が同時に使用されるときに相互に自動的に接続されないようにしてください。必要に応じて、各 WIDI の名前を変更(再起動後に有効になるように名前を変更する)できるため、同時に使用するとき異なる WIDI デバイスを区別するのに便利です。
4. Windows 10/11 とコンピューターの Bluetooth ドライバーが最新バージョンにアップグレードされていることを確認してください(コンピューターには Bluetooth Low

Energy 4.0 または 5.0 が装備されている必要があります)。

5. WIDI デバイスの電源を入れます。Windows の[スタート]-[設定]-[デバイス]をクリックし、[Bluetooth とその他のデバイス]ウィンドウを開き、Bluetooth スイッチをオンにして、[Bluetooth またはその他のデバイスの追加]をクリックします。
6. [デバイスの追加]ウィンドウに入ったら、[Bluetooth]をクリックし、デバイスリストにリストされている WIDI デバイス名をクリックして、[接続]をクリックします。
7. 「デバイスの準備ができました」と表示されている場合は、[完了]をクリックしてウィンドウを閉じます(接続後、デバイスマネージャーの Bluetooth リストに WIDI が表示されます)。
8. 手順 5 から 7 に従って、他の WIDI デバイスを Windows 10/11 に接続します。
9. 音楽ソフトウェアを開くと、MIDI 設定ウィンドウで、リストに WIDI デバイス名が表示されます(Korg BLE MIDI ドライバーは自動的に WIDI Bluetooth 接続を検出し、それを音楽ソフトウェアに関連付けます)。MIDI 入力および出力デバイスとして目的の WIDI を選択するだけです。

さらに、Windows ユーザー向けに WIDI BudPro および WIDIUhost プロフェッショナルハードウェアソリューションを開発し、超低遅延と長距離ワイヤレス制御に対するプロフェッショナルユーザーの要件を満たしています。詳細については、該当す

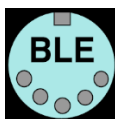
る製品ページ(www.cme-pro.com/widi-premium-bluetooth-midi/)をご覧ください。

- **Android デバイスと MIDI Thru5WC の間に Bluetooth MIDI 接続を確立します**

ビデオ 指導: <https://youtu.be/0P1obVXHXYc>

Windows の状況と同様に、音楽アプリは Bluetooth MIDI デバイスに接続するために、Android オペレーティングシステムの一般的な Bluetooth MIDI ドライバーを統合する必要があります。ほとんどの音楽アプリは、さまざまな理由でこの機能を実装していません。したがって、Bluetooth MIDI デバイスをブリッジとして接続するために特別に設計されたアプリを使用する必要があります。

1. 無料アプリ「MIDI BLE Connect」のダウンロードとインストール: https://www.cme-pro.com/wp-content/uploads/2021/02/MIDI-BLE-Connect_v1.1.apk



2. WIDI コアモジュールが取り付けられた MIDI Thru5 WC の電源を入れ、青色の LED がゆっくり点滅していることを確認します。
3. Android デバイスの Bluetooth 機能をオンにします。
4. MIDI BLE Connect アプリを開き、[Bluetooth スキャン]をクリックし、リストに表示される MIDI Thru5 WC を見つけて、[MIDI Thru5 WC]をクリックすると、接続が成功したことが表示されます。同時に、Android システムは Bluetooth ペアリングリクエスト通知を発行しますので、

通知をクリックしてペアリングリクエストを受け入れてください。この時点で、Android デバイスのホームボタンを押して、MIDI BLE Connect アプリを最小化し、バックグラウンドで実行し続けることができます。

5. 外部 MIDI 入力可能な音楽アプリを開き、設定ページで MIDI 入力デバイスとして MIDI Thru5 WC を選択すると使用を開始できます。

● 複数の WIDI デバイスとのグループ接続

ビデオ 指導: <https://youtu.be/ButmNRj8XIs>

WIDI デバイス間でグループを接続して、最大[1-to-4 MIDI Thru]および[4-to-1 MIDI マージ]の双方向データ伝送を実現でき、複数のグループを同時に使用できます。

注: グループ内の他のブランドの Bluetooth MIDI デバイスを同時に接続する場合は、以下の「グループ自動学習」機能の説明を参照してください。

1. WIDI アプリを開きます。



2. WIDI コアモジュールが取り付けられた MIDI Thru5WC の電源を入れます。

注意: 複数の WIDI デバイスを同時にオンにしないと、自動的に 1 対 1 でペアリングされ、WIDI アプリが接続したい MIDI Thru5 WC を検出できなくなります。

3. MIDI Thru5 WC を「Force Peripheral」ロールに設定し、名前を変更します。

注 1: BLE ロールを「Force Peripheral」に選択すると、設定は自動的に MIDI Thru5 WC に保存されます。

注 2: デバイス名をクリックして、MIDI Thru5WC の名前を変更します。新しい名前を有効にするには、デバイスを再起動する必要があります。

4. 上記の手順を繰り返して、グループに追加するすべての MIDI Thru5 WC を設定します。
5. すべての MIDI Thru5 WC を「Force Peripheral」の役割に設定した後、同時に電源をオンにすることができます。
6. 「グループ」メニューをクリックし、「新規グループの作成」をクリックします。
7. グループの名前を入力します。
8. 対応する MIDI Thru5 WC を中央と周辺の位置にドラッグアンドドロップします。
9. 「Download Group」をクリックすると、中央の MIDI Thru5 WC に設定が保存されます。次に、これらの MIDI Thru5 WC が再起動し、同じグループに自動的に接続します。

注 1: MIDI Thru5 WC をオフにしても、すべてのグループ設定は中央に記憶されます。再度電源を入れると、自動的に同じグループで接続されます。

注 2: グループ接続設定を削除する場合は、WIDI アプリを使用して中央の MIDI Thru5 WC を接続し、[グループ設定の削除]をクリックしてください。

● グループ自動学習

ビデオ 指導: <https://youtu.be/tvGNiZVvwbQ>

自動グループ学習機能により、WIDI デバイスと他のブランドの Bluetooth MIDI 製品との間に最大[1-to-4 MIDI Thru]および[4-to-1 MIDI merge]グループ接続を確立できます。中央の役割で WIDI デバイスの「グループ自動学習」を有効にすると、デバイスは自動的にスキャンして使用可能なすべての BLE MIDI デバイスに接続します。

1. すべての WIDI デバイスを「Force Peripheral」として設定して、WIDI デバイスが相互に自動的にペアリングされないようにします。
2. 中央の WIDI デバイスの「グループ自動学習」を有効にします。WIDI アプリケーションを閉じます。WIDI LED ライトがゆっくりと青色に点滅します。
3. 最大 4 つの BLE MIDI 周辺機器(WIDI を含む)をオンにして、WIDI 中央デバイスに自動的に接続します。
4. すべてのデバイスが接続されている場合(青色の LED ライトが常に点灯しています。MIDI クロックなどのリアルタイムデータが送信されている場合は、LED ライトがすばやく点滅します)、WIDI 中央デバイスのボタンを押して、グループをメモリに保存します。WIDI LED ライトは、押すと緑色、離すとターコイズ色になります。

注: iOS、Windows 10/11、Android は WIDI グループの対象外です。macOS の場合は、MIDI Studio の Bluetooth 設定で「広告」をクリックします。

仕様

MIDI THRU5 WC	
MIDI コネクタ	1 x 5 ピン MIDI 入力、5 x 5 ピン MIDI スルー
LED インジケータ	2x LED ライト (Bluetooth インジケータライトは、WIDICore 拡張モジュールがインストールされている場合にのみ点灯します)
対応デバイス	標準 MIDI ソケットを備えたデバイス
MIDI メッセージ	ノート、コントローラー、クロック、sysex、MIDI タイムコード、MPE など、MIDI 規格のすべてのメッセージ
有線伝送	ゼロレイテンシーとゼロジッターに近づく
電源	USB-C ソケット。標準の 5V USB バスで駆動
消費電力	20 mW
大きさ	82.5 mm(L)x 64 mm(W)x 33.5 mm (高さ) 3.25 インチ(L)x 2.52 インチ(W)x 1.32 インチ(H)
重量	96 g/3.39 オンス

WIDI コアモジュール(オプション)

テクノロジー	Bluetooth 5(Bluetooth Low Energy MIDI)、双方向 16MIDI チャンネル
対応デバイス	WIDI マスター、WIDI ジャック、WIDI Uhost、 WIDI Bud Pro、WIDI コア、WIDI BUD、標準 Bluetooth MIDI コントローラー。Mac / iPhone / iPad / iPod Touch、Windows 10/11 コンピュータ ー、Android モバイルデバイス(すべて Bluetooth Low Energy 4.0 以降)
対応 OS(BLE MIDI)	macOS Yosemite 以降、iOS 8 以降、Windows 10/11 以降、Android 8 以降
無線伝送遅延	最短 3 ミリ秒 (Bluetooth 5 接続に基づく WC モジュールを備え た 2 つの MIDI Thru5 WC のテスト結果)
範囲	20 メートル/ 65.6 フィート(障害物なし)
ファームウェ アのアップグ レード	iOS または Android 用の WIDI アプリを使用した Bluetooth 経由のワイヤレスアップグレード
重量	4.4 g / 0.16 オンス

仕様は予告なく変更される場合があります。

FAQ

- MIDI Thru5 WC は 5 ピン MIDI で駆動できますか？

- いいえ。MIDI Thru5 WC は、高速フォトカプラーを使用し、MIDI 入力と MIDI 出力の間の電源グラウンドループによって引き起こされる干渉を分離し、MIDI メッセージを完全かつ正確に送信できるようにします。そのため、5 ピン MIDI で駆動することはできません。
- **MIDI Thru5 WC は USB MIDI インターフェースとして使用できますか？**
- いいえ。MIDI Thru5 WC の USB-C ソケットは USB 電源専用です。
- **MIDI Thru5 WC の LED ライトが点灯しません。**
- コンピュータの USB ソケットに電力が供給されているかどうか、または USB 電源アダプタに電力が供給されているかどうかを確認してください。
- USB 電源ケーブルが破損していないか確認してください。
- USB 電源を使用する場合は、USB 電源がオンになっているか、USB パワーバンクに十分な電力があるかを確認してください(AirPods やフィットネストラッカーなどの低電力充電モードのパワーバンクを選択してください)。
- **MIDI Thru5 WC は、拡張 WC モジュールを介して他の BLE MIDI デバイスにワイヤレスで接続できますか？**
- 接続した BLE MIDI デバイスが標準の BLE MIDI 仕様に準拠している場合は、自動的に接続できます。MIDI Thru5 WC が自動的に接続できない場合は、互換性に問題がある可能性がありますので、BluetoothMIDI.com ページから CME に連絡してテクニカルサポートを受けてください。

- MIDI Thru5 WC は、拡張 WC モジュールを介して MIDI メッセージを送受信することはできません。
- DAW ソフトウェアで MIDI Thru5 WC Bluetooth が MIDI 入出力デバイスとして選択されているかどうかを確認してくださいか？
- Bluetooth MIDI 経由の接続が正常に確立されているかどうかを確認してください。
- MIDI Thru5 WC と外部 MIDI 機器間の MIDI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- MIDI Thru5 WC の WC モジュールの無線接続距離が非常に短い、レイテンシーが高いか、信号が断続的です。
- MIDI Thru5 WC は、無線信号伝送に Bluetooth 規格を採用しています。信号が強く干渉またはブロックされると、伝送距離と応答時間に影響が及びます。これは、樹木、鉄筋コンクリートの壁、または他の多くの電磁波がある環境によって引き起こされる可能性があります。これらの干渉源を避けるようにしてください。

接触

E メール: info@cme-pro.com

ウェブサイト: www.cme-pro.com/support/